



ヤマモモ

103

個人宅 深沢 1-40

昭和初期に植栽されたといわれるヤマモモです。

一般的には、高さ 5 ~ 10mといわれますが、この木は高さが 14.4m、幹回りは 258cmもあります。健康状態もよく、これほど大きなものは貴重です。

ヤマモモは庭木や、公園樹、街路樹などとして植えられます。

モッコク

96

豪徳寺 豪徳寺 2-24



高さ 12.8m、幹周り 205cm と大きく、幹は苔むして古木の雰囲気を感じさせます。生長が遅いといわれている樹種で、ここまで育つのに相当な年月を経ているものと思われます。

両性花の咲く株と雄株があり、この木は両性花が咲き、10 ~ 11 月に赤い実がなります。

仏殿と、招き猫で有名な招福殿の間にある赤い門のそばにあります。



ケヤキ（並木）

45

円泉寺 太子堂 3-30



円泉寺の前には立派なケヤキ並木があります。ケヤキは防風のために屋敷の境界に植えられ、農村だった頃の世田谷区では多く見られた風景でした。せたがや百景「太子堂圓泉寺とけやき並木」にも選ばれています。

並木の一角にはケヤキの大枯株が残されています。この木は戦前に雷に打たれて枯れてしまったそうです。また、大枯株のあるところは昔子どもたちの遊び場で大枯株に登って遊んでいたそうです。現在は根元の洞（うろ）に庚申塔2基が安置されています。

生きている木は最大のもので幹周り 392cmでした。ケヤキの大枯株の幹周りは 465cmなので、大枯株の太さまで育つにはまだ時間がかかりますが、これからも元気な木でいてほしいですね。



太子堂



ケヤキの大枯株

名木物語④

松の大枯株

松の大枯株 (クロマツ)

個人宅 駒沢 1-16

番 4

大正 9 (1920) 年に枯死したクロマツの大枯株です。

手前にある石碑には「樹齢 800 歳まして、丈拾八間余 (高さ 18 間 (約 33m))、周囲一丈四尺余 (約 420cm) の男松なり。」と書かれています。



名木物語⑤

ランプの木

ランプもち (モチノキ)

個人宅 等々力 4-23

番 9

夜なべ仕事にランプをいつも枝にかけていたところ、枝に食い込んでとれなくなってしまったそうです。写真に写っている円盤はランプの笠です。昔の生活をしのばせる木で、モチノキとしては大きく、高さ 10m を超えています。



葉の形 いろいろ

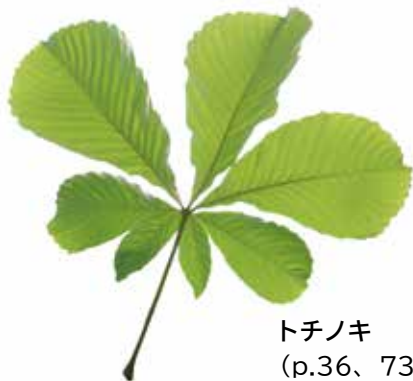
葉の形も樹種によっていろいろな個性があります。身近な木の葉もよく見てみると面白い発見があるかもしれません。



葉のギザギザのことを鋸歯(きよし)といいます。クスノキのように鋸歯が無い葉もあります。

モミジのように分かれている葉を分裂葉といい、分かれているところ1つ1つを裂片(れっぺん)といいます。

掌状(しょうじょう)複葉



羽状(うじょう)複葉



小さい葉(小葉)が集まって1つの葉になっているものを複葉(ふくよう)といいます。トチノキのように掌(てのひら)のような形の複葉を掌状(しょうじょう)複葉、ムクロジのように全体が羽根のように見えるものを羽状(うじょう)複葉といいます。

ケヤキ

49



区立瀬田二丁目けやき公園 瀬田 2-9

昭和 61(1986)年度に名木に選ばれた時、名木に選ばれたケヤキの中で幹周りが1番でした。今回の選定でも引き続き1番で、また樹形も丸くきれいです。

ケヤキは区の木で昔は防風林として屋敷に植えられました。葉の鋸歯は大きめで弧を描くような形です。



エノキ

24

区立玉川野毛町公園 野毛 1-25



都指定史跡の野毛大塚古墳の上であり、放射状に枝を伸ばした美しい樹形のエノキです。鋸歯は葉の上の方にだけあり、鋸歯の無い葉も混じっています。葉は厚くて両面とも触るとざらつきます。





ムクノキ

89

須賀神社 喜多見 4-3



戦前までは「鳴く木」として有名だったそうです。総代の方によると木の洞(うろ)にフクロウがいたのではないかとのことです。

葉のつけ根の方まで、直線的な鋸歯があります。著しくざらつく葉で、昔は漆器の木地やベッコウを磨くヤスリとして使われました。



ウラジロガシ

23

区立桜上水 1-1 遊び場 桜上水 1-1

カシの木の仲間で葉の裏が白いことが名前の由来となっています。葉の鋸歯が鋭くとがっていることが特徴です。

根元に分岐のある大木で、遊び場を見守るようにたたずんでいます。



モッコク

95



駒繫神社 下馬 4-27

高さ・枝張りともに10mを超え、モッコクとしては大きな木です。

葉は厚みがあって光沢があり、鋸歯はありません。赤みがかった葉柄が特徴です（写真内丸印）。庭木として使われ、公園にも植えられます。

境内にはアカシデ (p.71) もあります。



ユリノキ

105

成城学園 成城 6-1



樹形が美しい 20mを超す大木で、成城学園の前の通り沿いにあります。

葉の形が半纏（はんてん）に似ていることから、ハンテンボクとも呼ばれます。



カロリナポプラ

30

都立祖師谷公園 上祖師谷4丁目



高さ 27.5m、枝張りは 20mを越す樹形の美しい大木です。

一般的にポプラというとセイヨウハコヤナギを指し、細く高く伸びるイメージですが、本種は横に広がった樹形になります。葉は葉柄が長く、三角形～卵円形になります。



アメリカスズカケノキ

砧1

都立砧公園 砧公園1-1



樹形の美しい大きな木です。葉が落ちると、枝に残った鈴のような実が目立ちます。モミジバスズカケノキと葉が似ていますが樹皮や実のつき方が違うところで見分けることができます。

